

区政報告

77

2007年1月号

〒105-8511

hp

http://www.jcp-ni-nat-okugi-dan.gr.jp/

港区芝公園1-5-125

電話 357812945

FAX 357812947

mailto:nokuna@cp-ni-nat-okugi-dan.gr.jp

日本共産党港区議員団

党区議団の条例提案が実っています

6名

子育て・教育支援、町会・自治会支援

党区議団が提案した条例	港区が実施した施策内容
子ども医療費助成条例 04年1月提出 (小学6年まで無料に) その後、中学三年まで無料を要求	中学三年生まで医療費完全無料 05年4月実施
出産祝金条例 05年10月提出 出産に際し10万円支給	出産費用の一部助成制度 50万円を上限に保険から出る費用の差額を助成(15万円程度) 06年4月実施
小中学校卒業アルバム助成条例 作成費一人1万円補助 05年3月提出	アルバム作成費一部助成、社会科見学(演劇教室、美術館)入館料補助、移動教室、夏季学園の補助 06年4月実施
町会や商店街の街灯補助増額条例 (他会派へ共同呼びかけ。4会派で区長に申し入れ 06年10月)	区長が、「(町会・商店会の)負担にならないよう受け止め検討する」と回答。 本年4月実施に向け動き出す



政務調査費の領収書添付を義務付け

条例決まる 党区議団は以前から提案

港区議会は十二月八日の本会議で、政務調査費に領収書の添付を義務付ける条例改正案を全会一致で議決しました。実施は四月一日です。

港区議会では〇四年から、各会派の代表で構成する「議会改革委員会」を設置し、開かれた議会をめざす改革の議論をしてきました。日本共産党区議団は、

現在、党区議団が提出し、審議中の条例

どの条例も、区民の暮らし、福祉を応援するものです。

重度要介護高齢者手当に関する条例

要介護度4・5で在宅介護している世帯に、月1万円を助成

保育の実施に関する条例の一部を改正する条例

2人目の保育料を無料にする

学校給食費助成条例

小中学校の給食費を無料にする

修学旅行費助成条例

中学校の修学旅行費に1人5万円補助

- 党区議団の条例提案の姿勢
- まず、区民要望の聞き取り
- 区の制度や他自治体の調査
- 条例案として文書化
- 全会派に共同提案呼びかけ

国民には負担増と増税がさらに押し寄せます。格差社会を是正し、安心してくらする政治をめざし今年も大いに奮闘します。ご意見・ご要望をお寄せ下さい

無料なんでも相談会 毎月第3木曜 18時30分～ 事前にご予約ください。「困ったときこそ親身な相談」

保険料大幅増。給付はカット

75歳以上の高齢者だけの保険制度 後期高齢者医療広域連合 2008年度から

国会で医療制度が大改悪され、その中に、都道府県を単位として七五歳以上の高齢者だけの保険制度創設があります。

七五歳以上の高齢者すべてから保険料を徴収（現在、被保険者の扶養の方は保険料負担はない）。七五歳以上の方の医療費が増えると保険料が高くなる仕組みとなります。保険料が上がるのが「イヤなら」、医者にかかるな、というひどいものです。

それを具体化するため、十二月議会に、東京の六二市区町村が共同してつくる「東京都後期高齢者医療広域連合の設置」議案が提出されました。

党区議団は、今の医療制度で被保険者にはなんの支障もないこと。「広域連合」を発足させるために七五年度に二〇億円ものムダ遣いがされること。七五歳以上の高齢者に月平均六千円もの新たな保険料負担を強いることになり、保険料が止めどもなく上がることを指摘し反対しました。一方、自民党、公明党、民主クラブ（民主・社民）、港区民クラブ、かがやき、みなと社民、仲間へ勇気の会が賛成しました。

厚生労働省が示している 保険料 2008年推計

保険料の算定方法	月額
応益割（頭割）	3100円
応能割（所得比例）	3100円
合計保険料	6200円

基礎年金受給者は	900円
厚生年金の平均的な受給者は	6200円
自営業者の子どもと同居する方	3100円

今年定率減税の全廃
住民税フラット化
（現在5%、8%の方が一律10%に増税）
自民・公明政治によって負担増さらに拍車。

仮設園舎が継続して使用できません 継続使用求める請願採択 飯倉保育園

「待機児解消のため旧飯倉小学校内の保育園施設の活用促進を求める請願」が提出され、全会一致で採択されました。

保育園の待機児童は十一月一日現在四百二十八名です。区は待機児解消のために、改築による定員拡大や、定員の弾力化などを行っていますが、待機児の解消にはなっていません。

党区議団は十月二三日、助役 に緊急対策として、飯倉保育園、南青山保育園の仮園舎を継続使用するように用するよう申し入れました。また、十一月議会において一般質問で取り上げました。区も飯倉保育園の仮園舎については緊急対策的な保育施設として活用するための検討がすすんでいます。



シンドラー社長を参考人招致

区議会史上初 いのくま区議が提案

シテイハイツ竹芝の死亡事故の原因究明と再発防止のため、党区議団の提案で、「エレベーター事故等対策特別委員会」が設置されました。

十一月二七日には、いのくま区議の提案で、シンドラー社のケン・スミス社長（当時）を参考人招致しました。区議会史上初です。

事故原因の究明に関してスミス社長は、「警察の捜査の妨げとなるので、答えられない」との態度に終始しました。しかし、「シンドラー社が警察に事故原因に関する『意見書』を提出したのか」との、いのくま区議の質問に、「イエス」と答えました。

十二月二六日にはエスイーシー社を参考人招致しました。



いのくま区議 右後ろ向きはスミス社長

移動支援事業の

無料化求める請願を採択

「一日も早い実施」を区に要望
視力障害者の方が中心になって、移動支援事業の無料化を求める請願が一〇四名の署名を添えて提出され、全会一致で採択されました。

請願内容は〇六年四月から障害者自立支援法が始まり、原則一割負担が導入され、多くの障害者が負担増で、サービスを減らすなど深刻な状況になっています。ガイドヘルパーを頼むためにも費用負担があるため外出介助を頼むことができず社会参加をあきらめている。今の制度ではサービスを減らすだけでは負担増になるため利用を減らさなければならぬと区の軽減策の拡大、移動支援事業の無料化を求めたものです。

いのくま区議は、区の軽減策の拡大や移動支援事業の無料化を早期に実施するよう求めました。いのくま区議の提案で、請願の趣旨に添って、「一日も早く実現する」よう、委員会として区に要望しました。

いのくま区議は、「ブレーキの製造元、コイルやパッドの製